



特集

# 子どもを みつめて



# よつばの手紙

現場の芽  
「児童虐待かな？」と思ったら  
市内企業レポート  
行ってきました  
さんかく図書室  
人のわ

青梅市男女平等情報紙

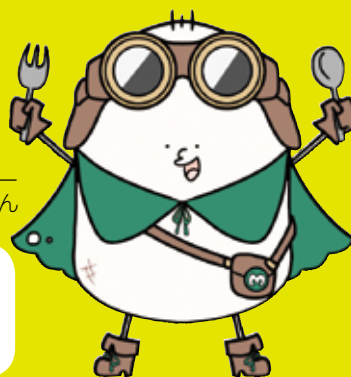
No.20

特集

# こども食堂

青梅に「こども食堂」ができました  
**すぺーす まゆだま**

メインキャラクター  
まゆだまん



遊びに来てみて

宿題やって、いっしょに遊んで、

いっしょに晩ごはんを食べれば、さみしくないし、きっと楽しいよ!



すぺーす まゆだま 外観

2018 (平成30) 年4月に  
青梅市友田・長淵地区に開設  
された「こども食堂すぺーす  
まゆだま」(以下、「まゆだま」)

事情があつて食事ができない子どもたちに、孤食になりがちな子どもたちに温かい食事を提供し、学習の支援をしています。

今回は、「まゆだま」の活動の様子や取り組みについて、スタッフの小嶋直之さん、町田幸子さん、荒井苗都美さんにお聞きしました。

友田地区の住宅街の一角に「ま

ゆだま」があります。広い前庭の奥にメインキャラクターが描かれた看板が見え、こども食堂の建物がありました。玄関を開けると、奥からおいしそうな匂いがして「ただいま」と家に帰ってきたような温かい雰囲気がありました。

## こども食堂を始めたきっかけ

「まゆだま」は、社会福祉法人長淵福祉会と地域住民の協力で始められました。社会福祉充実計画(10年計画)にのっとり事業費が得られたことで、地域で子どもたちの居場所づくりを目指し、活動を始めました。小嶋さんは元児童相談所の職員で、子どもの福祉に関心を寄せてきました。子どもだけでなく、一人暮らしの高齢者など、だれもが気楽に立ち寄れる場所、ここに来たら安心できる場所になることが目標とのことです。

## 活動の内容

毎週金曜日の午後4時から8時

まで、小学校4～6年生の子どもは一人、小学校3年生以下の子どもは保護者と一緒に受け付けます。小学校4～6年生は登録制になっていて、毎回来ることが前提になっています。登録している子どもは現在22人で、青梅市立友田小学校児童の約1割になります。登録をしていなくても、一日子ども30人になるまでは当日12時まで受け付け、参加することができそうです。

食事の前に学習時間があり、支援スタッフ5～6人が子どもたちを見守っています。学校の宿題やドリルをやったり、それらができない子どもにはプリントを渡したりします。子どもそれぞれのペースで静かに取り組むようです。場合によってはゲームを取り入れたりして、楽しい時間もつくっています。広い和室に座卓を置き学習スペースにしているので、寺子屋のような雰囲気です。まわりの押入れは棚になっていて、子どもたちの物が置いておけるようになっていました。



午後6時から夕食の時間です。台所では、調理スタッフが吟味した材料を調理し、温かい食事を用意しています。

登録している4～6年生は、無料です。登録していない場合、食事代として大人1回300円、中高生1回200円、小学生1回100円を支払います。

2018年10月から、火曜日も「まゆだま」食堂が開かれ、「まゆだま」食堂は週2回になりました。火曜日午後5時30分～7時、予約不要で一日50食まで、だれでも食べに行くことができます。料金は金曜日と同じ、大人1回300円、中高生1回200円、小学生1回100円です。

また、地域の子どもたちを対象に季節の行事など、イベントも開催し、とても喜ばれています。夏には流しそうめん、スイカ割りを楽しみました。冬には餅つきをして盛り上がり、年越しそばを作ってみんなで食べました。地域の子どもたちだけでなく、地域の大人たちも参加してくれて、地域のよ

い交流の機会になっています。

### 食材の寄付

子どもたちにおいしい豊かな食事を提供するために、食材を届けてくださる人も何人もいて、大変助かっているそうです。家で採れた野菜や果物、いろいろな食材をいただくと、工夫をこらし食材を生かした献立を考えるなど調理スタッフも励みになるそうです。みなさんのご協力をこれからもお願いします。



調理スタッフによる心のこもったきつねうどんとおにぎり

### 子どもたちの様子、スタッフが心がけていること

食べ物に好き嫌いがあったり、ごはんのみ食べた子など、子どももいますが、どの子どももみんな食べている様子を楽しみにしています。学校ではありませんが、みんなが気持ちよく楽しく過ごせるように、名前を呼びすてにしないなど、スタッフも心がけているそうです。

帰りは親に迎えをお願いしています。子どもたちだけでなく、親同士のコミュニケーションも生まれていくと思っています。

### シンボルマークの由来

昔から青梅は養蚕と織物が盛んな土地でした。友田小学校で子どもたちが蚕を飼っていることもあって、「まゆだま」となりました。メインキャラクターは小嶋さんの子がデザインしました。

### 地域との関わり

高齢者や障がい者など地域住民のみなさんの居場所として、介護予防体操教室、コーラス、会議、自治会のバーベキューなどに無料で施設を貸し出しています。

貸し出しスペースとしても運営をしていて、和室、会議室、ダイニング&キッチンを借りることができます。

学校の合宿にも使えますのでお問い合わせください。



#### こども食堂 すぺーす まゆだま

##### 所在地

住所 東京都青梅市友田町 3-96-1

電話 0428-78-3304

##### 連絡先

東京都青梅市長淵 1-930-3

社会福祉法人長淵福祉会

カントリーピア青梅 地域支援室

電話 0428-23-6233

## 現場の芽 子育て世代包括支援センター

2018（平成30）年1月4日、妊娠・出産・子育て期を通じて、子育て世代へ「切れ目ない支援」を提供できるよう、「総合相談窓口」として子育て世代包括支援センター（以下、センター）を開設しました。保健師や助産師の資格を持つ母子保健コーディネーターや臨床心理士が、妊娠・出産・子育てに関するさまざまな心配、出産や子育てに関する相談にワンストップで対応します。

センターでは、初めての妊娠・出産に漠然とした不安を抱えている



問合せ

子育て世代包括支援センター

電話 0428-21-0770

（青梅健康センター内）



子育て世代包括支援センター内の様子  
（写真提供：子育て世代包括支援センター）

る人、2人目、3人目の妊娠でも、上の子どもとの関わり方や、産後の子育てに不安を抱えている人などの話をよくうかがい、一緒に考え、妊婦一人ひとりの状況に合わせて、支援プランや子育てスケジュールと一緒に作成し、みなさんの子育てを応援します。たとえば、どこの機関とつながればいいのか、どんなサービスを利用できるか、その利用方法などを一緒にさがします。また地域の関係部署との連携を通して、顔の見える関係を築き、子育て世代が「青梅で

子育てしてよかったと思える地域づくり」を目指しています。「妊娠・出産・子育てのこと、どこに相談していいかわからない」人は、一人で抱えずに、一度センターにお電話ください。  
子育て世代包括支援センターの電話 0428-21-0770

### 「児童虐待かな？」と思ったら

児童虐待の防止に向けて

すぐに子ども家庭支援センターか児童相談所に相談・連絡してください。相談者のプライバシーは守られます。

### 子ども家庭支援センター

0歳～18歳未満のお子さんとそのご家庭の問題に関するあらゆる相談に総合的に対応する相談窓口です。

相談は無料です。

相談内容はすべて秘密を守ります。

場所…青梅市役所3階

開所時間…月曜日～金曜日の午前8時30分～午後5時00分（土曜・日曜・祝日・年末年始はお休みします）

### 児童虐待の4つのタイプ

- ①身体的虐待：叩く、殴る、蹴るなどの暴力、タバコの灰などを押し付ける、戸外に長時間出すなど
- ②心理的虐待：無視、拒否的な態度、子どもの前で家族に暴力をふるう、ば声や浴びせる、きょうだい間で差別的な扱いをするなど
- ③ネグレクト（養育の放棄または怠慢）：適切な衣食住の世話をせず放置、病気なのに医者にみせない、乳幼児を一人残し外出など
- ④性的虐待：子どもへの性交、性的暴力、性器や性交を見せる、ポルノの被写体にするなど

立川児童相談所  
〒190-0001  
東京都立川市曙町三丁目10番19号  
電話…042-523-1321  
FAX…042-526-0150  
児童相談所全国共通ダイヤル  
電話189番（イチハヤク）へ通告（連絡）してください。

ただし、子どもの生命や安全のため、一刻を争う場合は、110番通報してください。

## 市内企業 レポート



### ～ケーキや焼き菓子などの おいしい洋菓子を、ひとつひとつ 心を込めてお作りします～



まきのまさひろ  
代表 牧野昌弘さん

お菓子の工房 由香里絵 ゆかりえ まきのまさひろの牧野昌弘代表に自店で取り組んでいる活動についてお話をうかがいました。

#### ◆事業内容◆

当店は1988（昭和63）年に創業し、有名専門店で修行したパティシエが自ら足を運んで採した果物などの食材をふんだんに使った、見た目も楽しいケーキと焼き菓子を製造、販売しています。とくにモンブラン、ショートケーキは人気商品で売り切れになることもあります。他店にない味の組み合わせで「由香里絵」でしか食べられない味を提供していて、お客様には長年にわたって愛されています。

最近では自店独自のイベントやキャンペーンなども行っていて、幅広い年代のお客様に当店の味を味わってもらえるように日々、努力を重ねています。

#### ◆会社での取り組み◆

老若男女を問わず、祝い事や食後のデザートとして購入してくれる人が多いので、定番の商品はもちろんのこと、常にお客様に喜んでもらえるように新しい商品の開発も行っています。女性職員が積極的にお客様の声を聞いてくれるので、商品開発に役立っています。女性職員が意見を出しやすいように職場内の環境も整え、女性職員が今以上に生き生きと活躍できるように、さらに働きやすい職場環境を整えていきたいと思っています。

#### ◆さらに技術を磨くために◆

現在では代表である自分が主にケーキと焼き菓子の製造を行っています。しかし、これからは女性職員にも、自店内で製造技術を習得してもらうとともに、外部研修などにも足を運んで技術力を高めてもらいながら、職員の資質向上を販売につなげていきたいと考えています。それが代表である自分自身のモチベーションアップにもつながると思っています。

#### ◆今後について◆

女性職員の採用を積極的に進めていきたいと思っています。

これからも自店のファンをひとりでも多く増やしていきたいと思っています。



お菓子の工房 由香里絵（野上町3丁目）  
創業 1988（昭和63）年  
従業員数 6人（男性1人／女性5人）  
ケーキ・焼き菓子の洋菓子製造及び販売  
<https://ome-yukarie.com/>

## 相談窓口の案内

|       | 相 談 先                                                                  | 内 容                                                                |
|-------|------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 女性の相談 | 東京ウィメンズプラザ Tel03-5467-2455<br>毎日 9:00～21:00（年末年始は休み）                   | 女性の総合相談<br>ドメスティック・バイオレンス、夫婦・親子の問題、生き方や職場の人間関係など（就職活動の支援は行っておりません） |
|       | 東京都女性相談センター 多摩支所 Tel042-522-4232<br>月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み） |                                                                    |
|       | 青梅市役所 Tel0428-22-1111<br>月～金曜日 8:30～17:00（土・日曜日、祝日、年末年始は休み）            |                                                                    |
|       | 青梅警察署 Tel0428-22-0110<br>緊急の場合 110番通報                                  |                                                                    |
| 女性の就職 | マザーズハローワーク立川 Tel042-529-7465<br>月～金曜日 9:00～16:00（土・日曜日、祝日は休み）          | 専属の担当相談員による女性の就職活動全般の相談（キッズスペース等併設）                                |

#### 男性のための悩み相談

東京ウィメンズプラザ Tel03-3400-5313 電話相談 月・水曜日 17:00～20:00（祝日、年末年始は休み）  
夫婦や親子の問題、生き方・職場の人間関係、セクシャルハラスメントやDV、デートDVなどの暴力の問題など、男性の抱えるさまざまな悩みに男性相談専門の相談員が対応





# 行ってきました



## 青梅市立成木小学校

成木小学校は1996(平成8)年に第八、九、十小学校の統合により創立されました。2009(平成21)年には、「小規模特別認定校制度」を導入し、成木の自然のなか、少人数学級の教育を望む家庭に門戸を開き、市内全域から児童を募集するようになりました。鎌田博志校長に成木小学校についてうかがいました。



スクールバス

教員が児童一人ひとりにきめ細かく学習指導し、さまざまな活動で児童が関わる時間を多く確保できます。3年生からはプラスバンド活動が選択できます。

青梅市内東部から上成木を回るスクールバスがあり、定員と停留場所の条件が合えば通学に利用できる可能性があります。



鎌田 博志 校長

成木小学校とは

豊かな自然に恵まれた青梅市北部の成木地区のなかで、少人数学級で子どもたちのふれあいを生かした教育を行っています。

### 広がる世界

成木小のなかに留まらず、世界が広がるように校外の交流も全学年で行っています。

1、2年生は年2回成木保育園の園児と交流し、3年生は市内見学で来校する他校の3年生の前で事前に調べた成木地区についての発表をします。

飯能市の南高麗小学校とは、3年生は青梅市と飯能市のことを、4年生は東京都と埼玉県のことをお互いに紹介し合います。4、6年生は第七中学校と音楽交流があり練習した曲を披露します。

### 小規模特別認定校とは？

従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、市内のどこからでも就学を認めるものです。2009(平成21)年から成木小学校で、2011(平成24)年から第七中学校で導入しました。小規模な学校ですが、特色ある教育を展開しています。



市内小学校との学習交流

6年生では移動教室があり第七小学校の6年生と日光へ行きます。事前学習から成木小、第七小の児童が混ざった班で課題を調べ、のちの学習発表まで一緒に取り組みます。

### 印象的な児童の成長

教員の目が届きやすく児童自身で認められているという満足感から、自己肯定感が高い児童が多いと思います。

少人数学級のなかでは、その他大勢にならないため、児童一人ひとりに自己表現の場があります。

このような環境のなかで消極的だった児童が生き生きとしていく姿は印象的です。

## 児童同士の関わり

少人数学級のため児童同士が協力することが多いため、お互いを「個」として認め合っていると感じます。児童の多くが、同じ小規模特別認定校である第七中学校に進学するので、中学に入学してもよい関係が続き結束力があります。

たてわり班活動によって、1年生から6年生までお互いの顔と名前を覚えますので、学年を越えて親しくなります。全校レクリエーションで行う児童のシルエットクイズでは、みんなが名前を当てることができます。

## 成木地区と共に

成木地区は子どもの数がどんどん減少し、2018（平成30）年初めて初めて学区外から通学する児童が学区内から通学する児童を上回りました。

地域に根ざした学校として、日ごろから学校活動に理解をいただいている成木地区の活性のために

数字で見る成木小における特別認定校の特徴

| 項 目                                     | 内 容                               |                                  | 備 考                                                         |
|-----------------------------------------|-----------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| 平成31年度の小規模特別認定校制度の募集状況                  | 1学年：16人<br>2学年：10人<br>3学年：9人      |                                  | 成木小児童を含めて各学年20人まで募集しています。                                   |
| 指定区域内から通う児童と小規模特別認定校制度を含む指定区域外から通う児童の状況 | 指定区域外<br>平成29年度 38人<br>平成30年度 39人 | 指定区域<br>平成29年度 40人<br>平成30年度 32人 | H30年度に初めて、指定区域外から通う児童数が指定区域内から通う児童数を超えました。                  |
| スクールバスを利用する児童の状況                        | 指定区域外から通う39人のうち38人がスクールバスを利用申請    |                                  | 実際に登校時に利用している児童は18人です。その他の登録児童は、下校時や保護者の送迎が出来ない場合等に利用しています。 |
| 成木小学校を卒業後の進学先の状況                        | 第七中学校<br>平成29年度 11人<br>平成30年度 15人 | その他<br>平成29年度 4人<br>平成30年度 2人    | 成木小を卒業後は、第七中学校へ進学する児童が大半を占めています。その他は、私立中学校や指定区域の中学校への進学等です。 |

成木小の特色を学区外へアピールしていく必要性を感じています。また、自然体験や森林体験など成木地区の自然を生かした教育をより充実させていきたいと考えています。

所在地 東京都青梅市成木3-14-23-1  
電話番号 0428-17415240  
http://www.ome-city.ed.jp/es/narikes/  
最寄バス停留所 成木小学校前（都営バス成木循環）

## さんかく図書館



### DVD 「ブタがいた教室」 前田哲監督 / 日活

大阪の小学校での実話を元にした映画です。

4月の新学期。6年2組では、子ブタを飼い始めました。大きくなったらみんなで食べよう、担任の星先生はそう宣言しました。ところが、世話をしていくうちに、子どもたちは子ブタをペットのように扱い始め、徐々に愛着を深めていきます。そしてクラスは、「食べる派」と「食べない派」に二分されました。何度も話し合い、ついに卒業式を迎え、クラスで1つの結論を出します。

### 「子ども食堂をつくろう！」 明石書店

最近よく聞くようになった「子ども食堂」。開設するためにはどんな準備が必要なのでしょう。

現在も実際豊島区内で運営している「子ども食堂」が、開設に至るまで試行を繰り返した軌跡、それだけでなく、子どものために何か手助けをしたいという人たちの熱い思いが伝わってくる内容です。







## 人のわ

NPO法人 かぶかぶ山のようちえん  
代表理事 小川 佳那恵さん (34歳小曾木在住)

私は、華奈、奈穂の2歳の双子のきょうだいを育てる二児の母です。元々は京都の生まれですが、夫の転勤に伴い3年前に青梅にきました。

かねてから自然豊かな場所での生活をしてみたかったので、少し歩けば自然に触れられ、少し電車に乗れば都心部にも行くことができる青梅での生活は快適です。

私は青梅で大切にされている原っぱや山、森などで、子どもたちが楽しめそうなスポットを見つけるのが日課です。青梅が素晴らしいと感じるのは、地域の人に子どもたちを「ここで遊ばせていいのですか、よろしいですか」とお



小川 佳那恵さん  
華奈ちゃん・奈穂ちゃん

願いすると、快く応じてくださる人ばかりです。これまで何か所もお願ひにまわって歩きましたが、断られたことは一度もありません。

自然と子どもたち、未来を大事にしている地域だと感動します。

また、青梅で育児をしている親同士のコミュニティが出来たのはとてもうれしかったです。

私が乳腺炎やつわりなどで大変な時に子どもの面倒をサポートしてくれたり、育児の悩みを相談したり、双子を育てている経験を話したりすると、話すだけで気持ちになり悩みが解決したりと、みんな話すごことで子育て期の親の同じような悩みを共有できます。同じ体験をしている親同士の交流の場は大切だと実感しています。

去年は念願の古民家を購入しました。青梅の工務店さんや、ご近所のお友だちに手伝ってもらいながら改装工事を終え住み始めました。子どもたちには「ここでのびのびと育ってほしい」と思っています。

現在、私はNPO法人の「かぶか

ぶ山のようちえん」という0歳から自然体験ができる、保育士が企画・運営する親子のコミュニティをつくる活動を行なっています。ここ青梅の豊かな自然とふれあいながら、畑ごとや手しごとを体験しながら、一緒に楽しい暮らしをつくっていきましょ。

メールアドレス

info@capucapu-nature-school.com

<https://www.capucapu-nature-school.com>

電話 050-3390-0613



かぶかぶ山のようちえん活動の様子  
写真提供・・・かぶかぶ山のようちえん

### 編集後記

- 地域に心のこもった温かい食事で迎えてくれる場所があることに、安心安全な社会を感じました。これからも広がってほしいと思いました。(み)
- 世間では男女平等の考え方が浸透してきていますが、自分にはまだ固定観念が強く頭に入っていて、気がつかないうちに男女平等ではなく対応していることがあると感じました。(い)
- 子育て真っ最中で日々悩みはつきないですが、市内にサポートしてくれる場所や親子で集える場所があると知るだけで少しホッとできる気がします。(お)
- 改めて同じ育児をしている保護者同士が助け合う場が大切なことと、このような場がコミュニティにたくさんできればよいなと思いました。(よ)